



木山崎ゆきま

五十年前の
今日の見出し

信州民報

昭和47年3月
第6935号



情報をお寄せください
s-minpo@h6.dion.ne.jp
信州民報 TEL:22-7355

丸水市場など22社 秋和地区の団地に移転

第二次卸地の造成近く開始

上田市秋和地区に、第一次に続く第二次卸売団地の造成が始まる。この団地計画は、交通の不便な上田市の市街地に散在する卸業者を、十八号線沿いの一面に移転させて団地化し、商圏の拡大や商取引の円滑化を図ろうというもので、農地転用の許可さえ下れば直ちに造成に着手する手はずになっている。ここに入居するのは第一次の二十業者を上回る二十二業者で、上田丸一、丸水、丸二カワイ薬品、ミボシ、丸一冷蔵、村田屋など、用地は約十平方メートル。現在農地転用の許可申請をしているが、近く認可が下りるので、直ちに敷地の造成をし、七月ごろから社屋をはじめ共同倉庫、駐車場...

話し合いの別 票所に縮少 塩田 地区の二十三投票 所を九投票所に整 理統合したいと検 選挙管理委員会は、 上田市に

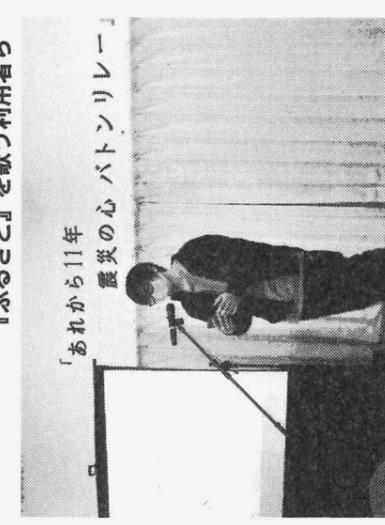
十日に塩田支所で同地区の自治会長との話し合いが、第一回の話し合いはもの別れに終わった。整理統合は、小さい投票所は個人の秘密保持の不安、関係されやすいなどの弊害を除き、選挙の公正を期したい。また人手が足りないため職員の配置が困難の二点が主なる理由。話し合いでは野貫、富士山、前山、八木沢、柳沢地区から地域的にも不便なところにあるのに、さらにこれを統合するとすれば有権者の棄権にもつながるとして強い反対が出...

本海野宿がアムに「宿 場の旅」で一躍有名に「田中」 朝日新聞社で行っている「信濃路の 宿場風景を訪ねる旅」に東部町本 海野宿をくり入れ、以来、回を重ねるに つれ、次第にアムに乗り、その他の観光国の訪れもしきりとなり、 て雷電遺品見学の宿となっている 矢島静衛さん宅でもいささかうれ しい悲鳴をあげつつある。そのこと は町の観光課などにも問合せがし きりであり、いま来ているものでは...

日本学士院は四十七年度の学士院賞受賞者七人を決め、その中に上田市築地出身の倉沢剛氏(67)が含まれている。倉沢氏は文学博士で、受賞の対象となったのは「小学校の歴史」全四巻だ。十八歳のときに川辺小学校の代用教員をふり出し、川辺郵便局長や...

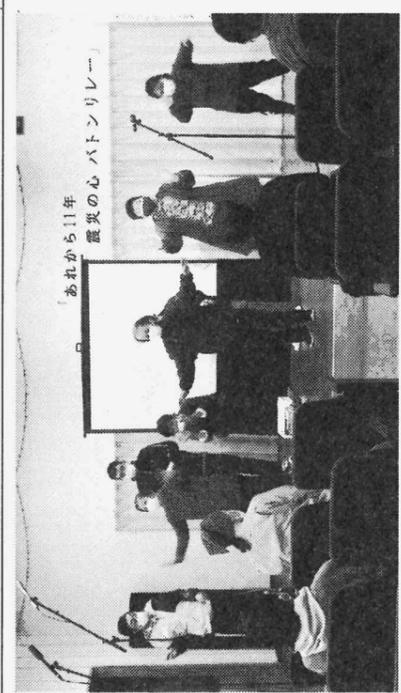
まるこ福祉会が「バトンリレー」 あれから11年「震災への備えを」

上田市



「ふるさと」を歌う利用者ら

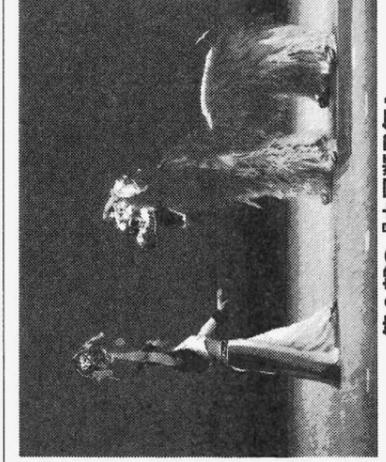
東日本大震災から11年目の11日、上田市長瀬の(福)まるこ福祉会(柳澤正敏理事長)は、同会きらりホールで「あれから11年、震災の心、バトンリレー」を開催。利用者や地域住民ら約80人が集まり、震災への備えに心を新たにしました。同福祉会では震災の勃発した直後、柳澤理事長をはじめ職員らは11ト車で被災地に支援物資を運び、以後も職員研修に行ったり被災地の物産を販



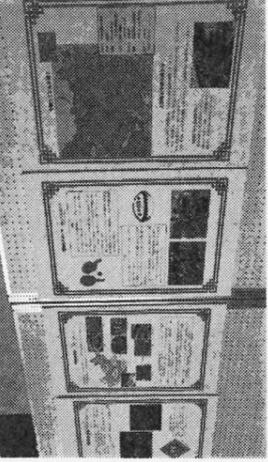
「ふるさと」を歌う利用者ら

売するなど、復興支援に取り組んできた。高校生や地域住民らが企画進行するバトンリレーは、毎年の恒例事業となっている。この日は上田高校1年・中澤拓海さん(16)が5歳の時、福島県いわき市で被災して父の実家である上田市に避難した経験に基づき、福島原発や差別、ネットモラルなどについて意見発表。最後に「忘れないでほしい。被災者への追悼の思いで、黙とうを捧げてほしい」と、語り掛ける。続いて「フードバンク in 上田高校」メンバーの

上田市・上田文化会館で中国雑技公演と二胡演奏ホストタウン上田実行委。上田市の上田文化会館で12日、中国文化公演会「中国雑技公演と二胡演奏」が開かれた。東京五輪・パラリンピックで上田市が中国のホストタウンとなったことから、交流文化事業の一環として企画されたもの。長野大学と市でつくるホストタウン上田実行委が主催し、



第2部の「中国獅子舞」



中国文化を紹介する展示「石刻獅子像」がある。2005年に同市から贈られた。浙江省寧波市と友好交流都市となっており、上田駅前には展示している。1995年に中国

2月6日にセントミューゼ小ホールで開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大で延期となり、会場を変更して実施した。第1部は「中国伝統楽器『二胡』演奏」とし、長野市在住の二胡奏者、田村望園さんが出演。中国の名曲から、「見上げてごらん夜の星を」など親しみのある日本の曲を二胡の美しい音色で披露し、観客を魅了した。第2部は華麗な技を繰り広げる、在日中国雑技

団が出演。同団は、中国本土の大型雑技団から集められた一流の在日芸術家で構成され、中国の各雑技大会などで賞を受賞しているプロ集団だ。華やかで楽しい『中国獅子舞』や、目にもとまらぬ早業・スピード感あふれるアクロバットなど、見事な曲芸を披露して観客に驚きと感動を与えた。両ステージで観客は大きな拍手で感動を伝え、出演者と心を通わせる。鑑賞を楽しんだ70代男性は「10年ほど中国に赴任したことがあり懐かしさを覚えた。みな優しく、いい人だった。コロナや戦争が収まり、行き来しやすくなるとうい」と話した。会場には中国の文化を伝える展示を行い、上田市と中国との関わりにつ

下島佳純さん(2年)と有賀明子さん(2年)が、スライドを使いながら同プロジェクトの活動について紹介。「支え合う心の大切さ」について伝え、「もつと多くの人々に笑顔を」とした。訪れた地域住民からは「頼もしい」「語り継いでいってほしい」「頑張つて」など、応援の声があふれる。同福祉会利用者は風の「ふるさと」を歌ってお礼とし、同福祉会理事・小室邦夫さんは被災して両親を亡くした小学3年生生女児の話を通し、「前向きに支え合い生きていく大切

さ」を伝えた。なおバトンリレー前には利用者、職員らの避難訓練も行われ、小室さんは「訓練は障がいを持つ利用者らにとって大切なこと。身を守ることを大に意識するように言っている」と話した。

さ」を伝えた。なおバトンリレー前には利用者、職員らの避難訓練も行われ、小室さんは「訓練は障がいを持つ利用者らにとって大切なこと。身を守ることを大に意識するように言っている」と話した。

労務監査・労務エージェントレジエンス



認証取得
品質マネジメントシステム
情報セキュリティマネジメントシステム



duty 人財力を経営に活かす
社会保険労務士法人 コーチャパン
duty and right

詳細・お問い合わせは
コーチャパン 社労士
上田本社 上田市津田2丁目1-7 TEL:0268-24-1234